

平成27年度 嬉野市教育委員会 教育基本目標評価シート

嬉野っ子輝きアクションプラン(学校教育)

7つのレインボープロジェクト	評価委員会における評価内容	
	評価委員からの指摘事項・意見	評価
<p>評価委員会では、下記のような意見が出された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICTの活用・運用については、一層の充実を進めてもらいたい。</li> <li>・ コミュニティ・スクールについては、学校から地域への貢献活動（地域行事への参加など）についても検討を進めてもらいたい。</li> <li>・ 校長先生の知恵袋事業については、学校の視点からの改善を進めやすい仕組みとなっているので、予算の確保と充実に努めてもらいたい。</li> <li>・ 特別支援教育の事業である早期支援コーディネーターの配置については、継続的・総合的な支援を考える上で重要な取り組みであるので、文科省の事業が終了した後についても引き続き配置ができるよう工夫してもらいたい。”</li> </ul>		A



指摘を受けての改善点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成26年度に作成した「ICT利活用実践事例集」を改訂し、より利便性の高いものにして活用を図っていく。</li> <li>・ 学校が、地域コミュニティや関係団体等と連携しながら、地域行事に子どもの出番を設定するなど、子どもたちが主体的に関われるような行事の在り方を探るような試みを実践していく。</li> <li>・ 校長先生の知恵袋事業については、学校によってやや前例踏襲の状況も見られるため、校長会等により指導を行うとともに、プレゼンテーションの質の向上を図ることで、審査を担当する財政課等職員に対する本事業の必要性や財源確保についての理解にも繋げていく。</li> <li>・ 早期支援コーディネーターの配置については、今後とも、その成果や必要性に関する資料を、財政課等に示しながら交渉を継続していく。</li> </ul>